

研修ガイド

防災ワークショップ・校外学習編

40分

校外学習等で災害が発生した場合に起こり得る危険とそれに対する事前対策、指導を考える

1 ねらい

- ① 校外学習等で災害が発生した場合に起こり得る危険とそれに対する事前対策、指導について考察することができるようにする。
- ② 防災ワークショップを通して、全教職員が参加し、防災意識、防災対応能力の向上につなげることができるようにする。

2 流れ

- ① 写真と状況の確認
- ② 「考えられる危険」の書き出し、発表、話し合い
- ③ 「対策、指導」の書き出し、発表、話し合い
- ④ 付箋のグループ化、まとめ
- ⑤ 全体シェアリング

3 準備物

- ・研修会進行資料……ファシリテーター進行表、進行スライド、グループ進行表、ワークシート、写真、模造紙、付箋（2色）、フェルトペン ほか
- ・参加者……筆記用具

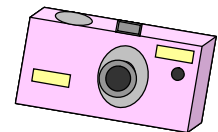
4 準備のポイント

① 写真

- 校外学習や行事等で利用する施設、道路等を撮影した写真を使用します。A3サイズ以上に拡大するとまとめやすくなります。
- 実物投影機を活用すれば、写真をスクリーンで拡大して投影でき、発表しやすくなります。

② 付箋

- 付箋を使う活動が2つあります。付箋は2色準備し、色分けをします。



5 活動内容のポイント

① 場面状況の設定について

事前に写真の場面状況を設定する必要があります。写真や研修したい内容、指導したい内容によって様々な場面や災害、日時など状況を設定することができます。

(例) 駅の写真……場面：校外学習中の駅構内 災害：地震による非常に大きな揺れが発生
日時：○月○日 10時30分

- ② 本ワークショップ後に、校外学習中や行事等に災害が発生したときの学校の対応や行動について話し合うこともできます。（「はじめよう『防災ワークショップ』」、3「防災ワークショップ」次のステップを参照）
- ③ 震災の経験を思い出して心身に不調を来す場合もありますので、参加者の様子などを観察し、配慮をお願いします。児童生徒等に指導する場合も同様をお願いします。

6 児童生徒等への指導について

① 校外学習等における児童生徒等への事前指導

事前指導例	活動内容
校外学習の事前指導	○ほぼ同じ流れで児童生徒等に工夫して指導します。写真を活用することで、災害発生時の場面の様子を想像しやすく、学校低学年からでも取り組むことができる内容となります。 ・校外学習や行事等で利用する施設、道路等を撮影した写真を使用し、「考えられる危険」とそれに対する「対策、行動」について考え、話し合う。

② 写真を活用した児童生徒等への指導

活用例	活動内容
危険発見	○校外学習や行事等で利用する施設、道路等に限らず、校舎内の各教室、学校周辺、通学路、商業施設など様々な場面を設定することができます。選択肢となる場所を示した写真を用意します。また、安全や防災に関する副読本の写真、イラストを利用することもできます。 ・写真の中に設定したいくつかの場所について、そこが災害発生時に安全かどうか考え話し合う。